

住友倉庫、シンガポール新倉庫が完成

Edited By LogisticsToday On 2019/07/09



住友倉庫は9日、シンガポールで摂氏15度から25度の範囲に対応する定温庫を備える新倉庫が竣工した、と発表した。7月4日に竣工式を行った。

これまで同社シンガポール現地法人はチュアス地区に2棟の倉庫、チャンギー国際空港に事務所を構えていたが、石油化学製品などの取り扱い拡大が見込まれるほか、東南アジア各国の経済成長に伴い取り扱う貨物の多様化が進み、拡大する定温保管需要に対応した。

新倉庫の稼働により、現地法人の自社倉庫面積は4万1000平方メートルへと拡大。今後は海外グループ拠点と連携し、物流サービスを充実させるとしている。

新倉庫の概要

所在地：シンガポールチュアス地区

構造：鉄筋コンクリート造・5階建て1棟

延床面積：1万1005.76平方メートル（3329坪）

竣工日：2019年5月31日

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト： <http://www.logi-today.com>

URL to article： <http://www.logi-today.com/346272>

Copyright © 2019 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.